

美点凝視

第 13 号
H23. 1
狭山台小学校
学校だより

明けまして
おめでとーございます

明けましておめでとーございます。
ご家族そろって穏やかな初春をお迎え
のことと存じます。本年が皆様にとつ
て素晴らしい年になりますよう祈念し
ております。本年も昨年同様、ご支援
とご協力をお願い申しあげます。
さて、今日から三学期が始まります。

三学期は平成二十二年度のまとめの学
期であるとともに平成二十三年度のス
タートのための準備の学期でもありま
す。

平成二十三年度が気持ちよくスター
トできるよう今年度の課題をしっかりと
と解決したいものです。

学校としての課題は、学校評価アン
ケートの結果を検討し、今年度中にで
きる課題と来年度に向けての課題に分
け、課題解決のための取組をしてまい

1 月行事予定

日	曜	行 事 予 定	日	曜	行 事 予 定
1	土	冬季休業日	17	月	発育測定（3・4年）
2	日		18	火	全校落葉掃き、発育測定（1・2年）、書き初め展
3	月		19	水	
4	火		20	木	心豊かな日、クラブ
5	水		21	金	幼保小連絡会、福祉教育4年
6	木		22	土	
7	金		23	日	
8	土		24	月	卒業・入学準備委員会
9	日		25	火	児童朝会、社会科見学6年
10	月	成人の日	26	水	
11	火	特短4始業式、一斉下校	27	木	音楽朝会、クラブ
12	水	給食開始、競書会	28	金	教育事務所・狭山市教育委員会指導訪問14:35下校
13	木	体育朝会、発育測定（5・6年）、競書会、委員会	29	土	
14	金	発育測定（けやき学級）	30	日	
15	土		31	月	職員会議
16	日		1	火	お話朝会、避難訓練

りたいと思います。

学校評価アンケートの結果について
は後日お知らせしますので、目を通し
てください。

児童一人一人の課題については、教
育活動の中で、また、保護者との面談
の中で、解決していければと考えてお
ります。何か心配なことがありました
ら、ご相談下さい。

平成二十二年度の狭山台小学校の教
育活動が大きな成果を上げ終了できま
すよう、さらなる保護者や地域の皆様
の協力をお願いいたします。

あいさつは全てをつなぐ 合い言葉

年が明けてのあいさつは、「明けま
しておめでとーございます。本年もよ
ろしく願います。」ですが、一年
の区切りを大切にし、人と人とのつな
がりを大切にしたい日本人の心が表れた
あいさつだなとも感じています。

一月四日に仕事始めて久しぶりに出
勤した時のことです。昼食をすまして
学校に戻ったとき、校庭で遊んでいた
数人の子が、

「明けましておめでとーございます。」
と元気よく、あいさつをしてくれまし
た。嬉しく、心が温かくなりました。
この子たちのように、時と場に応じ
たあいさつができる子どもたちが増え
ていくといいなと感じました。

三学期は、まとめの学期です。一学
期から「おはようございます」「さよ
うなら」「ありがとう」「ごめんなさい」
という気持ちのこもったあいさつを心
がけ、進んであいさつができる子を育
てることを一番に考えてまいりました
が、新年早々とても素晴らしいあいさ

休み中に普段できないことをし
ようと考え、テレビ録画を整理し
ました。

その中に、「激動中国・小皇帝の
涙」という番組があり、見入って
しまいました。

内容は、超競争社会でリストラ
された親が一人っ子にかけられる夢と
重圧を子どもと親両方の視点から
描いたものでした。

その中でこんな場面がありまし
た。子どもと親の意見交換の場面
です。子どもは、

「がんばっても他の子と比較して、
褒めてくれない」「勉強に追いまく
られている子どもを理解してほし
い」等と涙ながらに訴えています。
それに対して親は、

「子どもに期待しているからだ。
その期待に応えられるように努力
して欲しい。」「実際の社会はもつ
と厳しい競争社会だ。その中で勝
ち抜いていくためにも勉強をがん
ばって欲しい。」等、真剣に向き合
って話しています。

そのうち子どもたちは、返す言
葉がなくなってきたしまいました。
中国が成長の中で直面している
社会問題として学力至上主義の実
態を紹介していました。

日本においても学力は問題にな
っています。問題のとらえ方が
違うようです。
自分の問題として、社会生活に
結びつけて学力をとらえている中
国の家庭、親子の姿を何故か新鮮
な気持ちで見ました。

つに出会いました。

あいさつの輪が広がる一年になると
いいなと思います。



